

## 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録20周年記念特別展

### 特別展「聖地巡礼 ―熊野と高野―」

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」は平成16年（2004）7月に登録され、令和6年（2024）には20周年の節目の年を迎えます。この特別展では、「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録20周年を記念して、これまでの成果を振り返るとともに、紀伊路や大辺路・伊勢路など世界遺産登録後20年の間で新たに見いだされた文化財、調査・研究の進展などに触れながら、紀州が誇る霊場の高野・熊野の魅力を紹介いたします。あわせて今後の世界遺産の保存と活用についても、あらためて考える機会にしたいと思います。

この特別展は会期を長期に設定し、展示期間を全5期にわけ、熊野・高野の名宝を各期テーマを変えて展示します。第Ⅲ期「人・道・祈り」では、全館規模で熊野への参詣道とその沿道の文化財を中心とした展示を行います。令和6年度は、いつ来ても、テーマの異なる世界遺産の名宝を味わうことができる展示となっています。今もなお人々を惹きつけて止まない世界遺産「紀伊山地の霊場の参詣道」の魅力について、年間を通じてより深く知っていただく機会とします。

主催：和歌山県立博物館

入館料：

- ・第Ⅰ期・第Ⅱ期・第Ⅳ期・第Ⅴ期：一般520円（420円）、学生310円（250円）
- ・第Ⅲ期：一般1000円（800円）、学生800円（600円）

※（ ）は20名以上の団体料金

※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、和歌山県内在学中の外国人留学生は無料  
会期：6月15日(土)～3月9日(日) 開催総日数 181日

※会期は全5期にわけて内容を変えて展示を行います、各期30～40日程度。

会場：和歌山県立博物館（〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14）

第Ⅰ期・第Ⅱ期・第Ⅳ期・第Ⅴ期：1階企画展示室

第Ⅲ期：1階 企画展示室・常設展示室

担当：学芸課長 坂本亮太

TEL 073-436-8670 FAX 073-423-2467

E-mail ryota-s@dream.jp

admin@hakubutu.wakayama-c.ed.jp

## 第Ⅰ期 那智山・那智瀧の神仏 —熊野那智大社と青岸渡寺—

熊野三山のうち、唯一今もなお神仏習合の景観を留めている那智山（熊野那智大社と青岸渡寺）。そして、その信仰の象徴・源泉とも見られる那智の大瀧。熊野那智山に顕れた神仏、そこで執り行われる祭礼、信仰を広めた御師などの活動などを通じて、熊野信仰の成り立ちと広がりについて紹介します。

### 【展示構成】

- Ⅰ 聖地・那智山に顕れた神仏 —神像と曼荼羅—
- Ⅱ 那智瀧への祈り —那智経塚の遺宝—
- Ⅲ 那智へのいざない —御師・景観・祭礼—

◇主催：和歌山県立博物館

◇会期：6月15日（土）～7月21日（日） 展示期間32日

※休館日：月曜日、ただし7月15日（月・祝）は開館し、翌7月16日（火）は休館

◇時間：午前9:30～午後5:00（入館は閉館の30分前（午後4:30）まで）

◇会場：和歌山県立博物館 1階企画展示室（〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14）

◇入館料：一般520円（420円）、学生310円（250円）

※（ ）は20名以上の団体料金

※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、和歌山県内在学中の外国人留学生は無料

※特別展「聖地巡礼」は、2回目以降の展示見学のかたについては、割引があります。

◇イベント等：

【博物館講座】いずれも午後1:30～3:00 県立近代美術館（博物館となり）2階ホール

6月23日（日） 関根俊一（当館館長）「那智経塚の遺宝」

7月6日（土） 藤森寛志（県教育委員会文化遺産課主任）「那智田楽へのいざない」

【ミュージアムトーク（学芸員による展示解説）】 各回とも13:30～14:30

6月16日（日）・6月29日（土）・7月13日（土）・7月15日（月・祝）

入館の手続きをお済ませのうえ、企画展示室にお集まりください。